



カワシンジュガイを土谷川に放流する子どもたち

カワシンジュガイ放流 自然守り思い出づくり

土谷川河川ふれあい行事は7月31日、小屋瀬小、小屋瀬中学校の児童生徒、地域住民ら約150人が参加し、小屋瀬小学校周辺で行われました。

開会行事の後は、同校裏の川沿い約1kmをごみ拾いしながらウォーキング。その後、土谷川河川改修工事のため、川の上流部へ移していた希少種のカワシンジュガイのうち約600個を2カ所に分けて放流しました。2年前に作業を手がけた中学生は、カワシンジュガイの成長を願いながら、川へ丁寧に戻していました。

魚のつかみ取りやバーベキューなども行われ、ふるさとの自然や川に親しんだ真夏の日でした。

酪農家ジュニアが手綱取り ホルスタインベビーショウ

葛巻町乳牛改良同志会(岩泉篤会長)と葛巻ジュニアホルスタインクラブ(今待秀幸会長)は8月11日、江刈共進会場でホルスタインベビーショウを開きました。

第1部は生後8カ月未満、第2部は8カ月以上12カ月未満の2部門で未經産牛21頭が出品されました。家族らが真剣に様子を見守る中、同クラブの子どもたちが慣れた手綱さばきで牛をリードしていました。就学前の子どもたちもリードし、なごやかな雰囲気誘っていました。

審査の結果、第1部は八幡勝幸さん(葛巻地区)、第2部は中村優さん(江刈地区)の出品牛が金賞を受賞しました。



第2部ベストリードマンに選ばれた中村大地さん(江刈中2年)と金賞を獲得した出品牛(手前)

冷えてて、おいしいねー 城内小路で流しそうめん



ほどよい坂の傾斜を利用した流し台から、そうめんをすくって食べる子どもたち

8月13日、城内小路地区育成会(榎山義浩代表)では「流しそうめん」を行いました。宝積寺参道入り口付近に設置された約20mの雨樋に次々とそうめんが流れ、楽しそうに食べていました。

備えあれば、憂いなし 消防団が水防工法訓練



枝葉の茂った木に重り土のうを付けて崩壊の拡大を防ぐ「木流し工法」の訓練

台風シーズンを迎えた8月28日、町消防団の水防工法講習訓練が葛巻小学校校庭で行われました。盛岡中央消防署葛巻分署員が「積土のう工法」や「木流し工法」など災害時の適切な水防対策を指導しました。